

Kuwabara Surveying Corporation

# 桑原測量 Report

2

号

株式会社 桑原測量社  
2007年9月15日発行

” 地域・社会に貢献できる元気で豊かな会社をめざして ”



ポジティブに力強く !!

本社敷地北側の信越本線にて  
撮影年月：平成18年9月  
撮影者：宮下 編集長

## topics

- |                    |  |
|--------------------|--|
| Kuwa Soku Report 1 | 就任のご挨拶（代表取締役社長 桑原 清一）  |
| Kuwa Soku Report 2 | ホームページをリニューアルしました。   |
| Kuwa Soku Report 3 | 技術情報（地理空間情報活用推進基本法施行で業界はどう変わる）   |
| Kuwa Soku Report 4 | GISの取り組み（全国縦断GIS実践セミナーへ出展しました）   |
| Kuwa Soku Report 5 | 社内外活動のご紹介<br><ul style="list-style-type: none"><li>・新潟県中越沖地震災害対応支援GISチームへ参加しました。</li><li>・福祉施設へボランティアコンサートに行ってきました。</li><li>・地域防災組織での防災訓練に参加しました。</li><li>・異業種交流事業ボウリング大会に参加しました。</li><li>・相澤前社長の慰労会と納涼会を開催しました。</li></ul> |
| Kuwa Soku Report 6 | 研修に参加しました（社員研修報告）  |
| Kuwa Soku Report 7 | 桑原測量社 広報室から  |

この度、当社の前社長、相澤 紀に替わり代表取締役社長をお引き受け致しました。微力ではありますが全身全霊をささげ社業発展に努める所存でございます。

株式会社 桑原測量社は、昭和23年の創業以来、社是の【人格・正確・迅速】を、社員一人ひとりが拠り所として、人格の形成と正確な成果品を早く作り上げることを絶えず追い求め、お客様からの信頼を頂くと共に、多くの皆さまの暖かいご支援に支えられて着実な事業展開を続けてまいりました。

現在は、道路・河川・砂防・都市計画・地方計画・森林・海岸等の調査、測量、申請、土木施設構造物の設計、物件補償の調査・算定及び地理情報システムの開発・設計・維持管理の技術集団として、総合的な技術力をもって、魅力ある地域づくり、街づくりの社会資本整備の分野を事業領域として活動しております。

また、情報化社会の重要な基盤とされる地理情報システム（GIS）の分野においても、地元測量業8社により組織する「くびき野GIS協同組合」を設立し、現在までに蓄積した地域特有のコンテンツを基に、積み重ねてきたGIS開発技術とGPSを活用した高度な測位技術を根幹に他業種とのコラボレーションによる、地域ネットワークロボットプラットフォーム構築の実現を目指しております。加えて、ISO9001国際規格の活動により、製品の品質及びサービスの向上と技術力の向上に努め、更なる信頼性の確保に取り組み企業体質の強化に邁進しているところです。

【社会から賞賛され、期待される元気あふれる豊かな会社をみんなで築きあげよう】を経営理念に掲げ、お客様から満足して頂ける製品・サービスの提供に心がけ役職員一丸となって「地域・社会から必要とされる企業」を目指してまいります。今後とも、みなさま方のご指導、ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長 桑原清一



当社ホームページをスタッフが気合いを入れて一新しました。

当社の様々な取り組みを、内外に情報発信しお客様から親しまれ、社会から愛されるため、自らプレッシャーに立ち向かう気持ちで作成致しました。是非ともアクセスして皆様からの意見、ご要望等をご投稿頂けることをご期待申し上げます。

URL : <http://www.kuwa-soku.co.jp/index.php>

主 な 内 容

・業務内容

当社が行っている業務について、画像、動画を用いて詳しく紹介しています。

・会社概要

社長挨拶に始まり、当社の経営理念、沿革、有資格者、保有機材等について紹介しています。

・GIS（地理情報システム）

GISとは？ GIS活用例、GIS構築のながれ、GISのこれから等について具体的な説明と、当社のGIS開発実績・導入実績を紹介しています。

・お客様の声

当社では、ISO品質方針に基づき納品した成果品への満足度、当社職員の対応等についてお客様からご意見を頂いております。ここではお客様の声を紹介しています。

・業務実績

当社が受注した業務を機関別に掲載し、その作業概要を紹介しています。

・技術情報

測量業界が関係する政府の施策・政令、県、市町村の動向等、様々な情報と自社技術情報などをリアルタイムにお届けします。（弊社サイトから新鮮な情報入手が可能です）

・社員日記

社員が日常業務だけでなく、日常生活の中で意見、感想などを自由に投稿できるページです。気軽に書き込み楽しいページにしたいと思います。是非アクセスしてみてください。

・社内外活動

会社単位での社会奉仕活動・福利厚生、職員の個人的ボランティア活動、地域行事への参加等の社会活動を紹介します。



測量業界の悲願であった「地理空間情報活用推進基本法」が、本年5月23日に成立し、先月の8月29日施行されました。

いよいよ地理空間情報社会の到来となり、携帯電話をはじめインターネットやカーナビの普及に伴い、GISが様々な分野で活用され急速に進展していくことが予想されます。基盤地図情報作成が国家的取り組みの中で必要とされ、地方自治体の日常的な業務として法整備されたのです。測量に携わる我々は、その整備、更新業務の担い手として社会的貢献が求められる事になります。そのためには、地理情報標準（JSGI）へ対応、GIS/GPSへの技術研鑽等の人材育成が求められます。地域活性化の為に地元測量業者の積極的提案が必要不可欠と言えます。（宮下編集長）

地理空間情報活用推進基本法

<http://law.e-gov.go.jp/announce/H19HO063.html>

地理空間情報の活用の推進 地理空間情報の活用の推進 と公共測量の今後

<http://www.gsi.go.jp/LOCAL/kinki/library/images/pre83.pdf>



システムを説明する小島さん



増沢会長挨拶（セミナー会場）

当社が所属する「NPO 全国GIS技術研究会」主催による、GIS学会認定セミナー【全国縦断GIS実践セミナー in 山梨】が8月28日（火）に山梨県甲府市で開催されました。

地元及び近隣の自治体を中心に100名強の皆様が熱心に受講されました。今年は、地理空間情報活用推進基本法の成立にちなみ、～**基盤地図情報のデータ整備を通じて社会貢献を**～をテーマに各方面から講師をお招きし、GISの将来に希望と勇気を与える講演をいただき、成功裏に終わりました。

別室で行われたシステム展に当社もブースを開設し、**自社開発の「災害時要介護者支援台帳システム」と「福祉安心除雪支援システム」**を展示し、訪れた自治体、民間の皆様から高い評価を頂きました。（宮下編集長）

展示システムについて、詳しくお知りになりたい方は、桑原測量社広報室、宮下までご連絡ください。



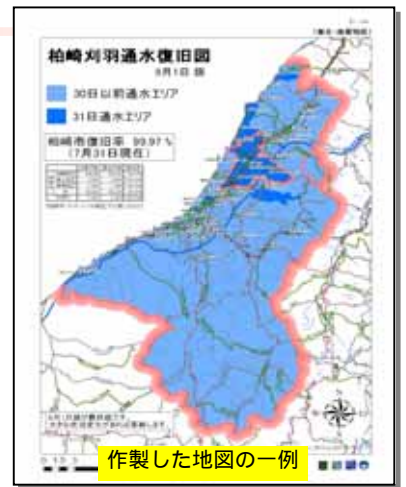
新潟県中越沖地震災害対応支援GISチームへ参加しました。

7月16日発生した、中越沖地震と同時に設置した「新潟県災害対策本部」7月17日朝の対策会議において、新潟県知事から「**災害対応の状況をわかりやすく地図化できないか**」という要請があり、この要請に応じるかたちで産官学民のメンバーからなる「**新潟県中越沖災害対策GIS支援チーム**」が立ち上がりました。翌18日には、支援の為に「**地図作製班**」が結成され、19日から本格的な運営を開始し、8月10日まで支援活動を行いました。（8月16日新潟県発表の報道資料より）

当社も業務部GISグループの齊藤君が「**くびき野GIS協同組合**」の一員として、延べ5日間、ボランティアとして県の災害対策本部にて地図作成に従事しました。作業にあたった関係者の真剣さと熱意に心をうたれ、頭の下がる思いでした。

作成した地図の役割

- ・災害対策本部会議で被害状況、復旧状況、対応状況を把握するための地図
- ・本部班及び各課の災害対応業務を支援するための地図
- ・自衛隊、警察等各関係機関の災害対応業務を支援するための地図



作製した地図の一例

福祉施設へボランティアコンサートに行ってきました。



丸山さん  
がんばれ！

H19.7.7  
「かなやの里」  
にて



【上越フルートアンサンブル オイレン】のメンバーで、平成19年7月7日にかなやの里、8日に二幸介護サービスに依頼演奏に行ってきました「七つの子」「涙そうそう」「見上げてごらん夜の星を」「千の風になって」など、日本の曲を中心に7曲ほど演奏させて頂きました。観客の皆さんと一緒に曲を口ずさんでくれたり、時折涙を流しながら熱心に聞いて下さり、演奏しているこちらもとても楽しく、気持ちのいい時間を過ごす事ができました。

中学の部活でフルートという楽器に出会ってから早1年、その優しく温かな音色にどんどん魅せられていきました。今でも週一回みんなで集まって、楽しく時には厳しく練習に励んでいます(^o^)。これからも街角やイベントや、いろいろな施設で、のんびりゆったり楽しく、演奏活動をしていけたらいいなと思います。

10月13日（土）14:00から、上越文化会館中ホールにて「**ラングサムコンサート**」を開催します。（入場無料）是非、足を運んでみてください。

（投稿者：丸山さん）

地域防災組織での防災訓練に参加しました。



9月1日防災の日に、私が住んでいる地元で防災訓練が行われました。

7月16日に発生した中越沖地震で、私の住んでいる町内も、家屋の全壊・半壊など大きな被害を受けました。（あの揺れは本当に凄かったです。）

訓練当日は、地震発生時のサイレンが鳴り、地元消防団による想定駆け付け放水、一般の方を対象とした消火器・AEDの講習、地震体験車の試乗コ-ナ-などが行われ、子供からお年寄りまで実際に手で触れて体験して真剣に取り組んでいる姿がとても印象に残りました。私自身も地元消防団の一員として参加しましたが、中越沖地震直後ということもあり大変意味のある訓練だったと思います。

昔から『災害は、忘れた頃にやってくる！』と言い継がれていますが、最近では『**災害は、いつでもやって来る！**』と言うほうが今の時代に合っているように感じました。火災は予防できますが、災害は予防できません！

今後、この様な大規模災害が起きないことを皆さんで願いましょう！！

（投稿者：山崎さん）



異業種交流事業ボウリング大会に参加しました。

投稿者の渡邊さん

平成19年8月30日に上越レージャーランボウルにおいて、上越地区勤労青少年福祉推進者連絡協議会による、平成19年度「異業種交流事業ボウリング大会」が開催されました。

日ごろ交流機会の少ない会員推進者及び会員企業の勤労青少年等が、ボウリング大会を通じて健康増進と親睦を図ることを目的とし、新規卒卒者を中心に参加者は100名を超えました。

当社からは、新規卒卒者の清水くんを始め、高沢さん・石上さん・大脇さんの4名+当日取材に行った私(渡邊)も飛び入りで参加させて頂きました。競技は個人戦とし、2ゲーム得点の合計で順位を競いました。結果は50ポイントのハンディキャップが加算された私が**287ピンで総合9位と大波賞**を頂きました。30歳未満が表彰対象という事もあり、当社からの受賞者は私だけ...飛び入り参加した私が2つも賞を頂き、何とも気まずい結果となりました(^\_^;) (投稿者：渡邊さん)



当社からの参加メンバー

相澤前社長の慰労会と納涼会を開催しました。

8月10日（金）デュオ・セレッソ上越にて、相澤前社長のご苦勞をねぎらう慰労会と納涼会を開催しました。

桑原清一新社長から相澤前社長へ、業界を取り巻く社会情勢が激変する4年半のご苦勞に対し、心からの謝辞と花束が贈呈された後、桑原新社長の決意表明では**役職員一体となり、経営理念の基、新たな決意で今後の難局に取り組む**ことを約束されました。

引き続き行われた納涼会では、先般亡くなられた、ご子息、桑原民雄元社長に対して悲しみの癒えない桑原清作前会長ご夫婦へ励ましの旅行券が、職員一同から手渡されました。その後は、「ワイワイ」「ガヤガヤ」日頃の業務を忘れ明るく楽しい雰囲気の中で、熱い夏の夜のひとときが過ぎました。飲み会は**コミュニケーションに最適の場**、先輩、後輩の意見が交錯するなかで様々な発見をすることが多くあります。

こんな機会を、なるべく多く持ちたいですね・・・



(高沢編集員)



桑原新社長から、相澤前社長に花束の贈呈・・・

相澤さん、社会情勢が激変する中、そのご苦勞に心より感謝致します。有り難うございました。

実施日：平成19年8月27日（月）  
 会場：新潟市 新潟県自治会館「ゆきつばき」  
 名称：【いきいき若者しごとセミナー】  
 ~聴く技術・質問技術で能力を引き出す~  
 主催：新潟県  
 参加者：業務第1G 齊木さん・業務第2G 本間さん

今年度は新入社員が入社し、一緒に作業していく中で年齢差があることで仕事の取り組み方・考え方にギャップを感じていました。「何で...? どうして分からないの」の連続ですが、この研修により今の若者の考え方・接し方などを触れる事が出来ました。

近年の若者は、入社するまで**実際に働いている人を間近で見ることが少なく**、また入社後は**仕事での理想と現実とのギャップ**を感じてしまい、また人間関係なども重なり会社を去って行くとのことでした。

皆さんも経験が有るかと思いますが、「**分かった?**」と聞いてはいけないとのことでした。上司に「分かった?」と聞かれれば「分かりました!」と答えるしかなく、質問した側も聞いかけと同時に答えを作り出していて、これくらい分かるだろうと、おのずと「分かりました」の言葉を待っているのです。

つつい先を急ぐ余り強要してしましますが、**ある程度時間を与え考えさせる事で好奇心を持たせていきたい**と考えさせられました。

実施日：平成19年8月23日（木）  
 会場：上越市 ホテル「ハイマート」  
 名称：【フレッシュアップセミナー・交流会】  
 ~社会人としての心構え・こんなとき、どうする?~  
 主催：新潟県地域労使就職支援機構  
 参加者：業務第2G 清水さん

私はこのセミナーで、電話の受け方、トラブルの対処方法等、沢山のことを習得できたことを嬉しく思っています。

「先輩からのメッセージ」では製造業の入社13年目、3年目の社員の人が講義しそこで感銘を受けたのは「**分からないことがあれば上司に聞け**」という言葉でした。その先輩は入社して数ヶ月経ったある日、作業中分からない部分があるまま作業し誤って1000万円近くする部品を壊してしまったのです。その後上司から「**なぜ聞かなかったのか**」と、ひどく怒られたということです。

私は仕事で、考えれば分かることまで聞くことがあるので、「**自分で考えてどうしても分からなかったら聞こう**」という意識があり、それで本当に分からない（経験したことがない、少ない）ことでもすぐ聞かないことがあるので「**積極的に聞こう**」と思いました。

今後このような講習会があればぜひ参加させて頂きたいと思っています。今回はこのような機会を与えて頂き有り難うございました。

この度の中越沖地震で被災された皆様におかれましてはこの場をお借りして御見舞申し上げます。さて、第2号は災害復旧業務と通常業務を両立しながら、我々編集員は取材等を続けてまいりました。如何だったでしょうか？興味深い記事はありましたか？次回は12月を予定しておりますが、ご要望等ございましたらお気軽に広報室までお問い合わせください。（齊木編集員）

第2号はいかがでしたか？創刊号は社員全員が登場してユニークな表紙でしたが、今回の表紙はSLの写真となりました。今にも「ポッポッ」と汽笛の音が聞こえて来そうな感じがします。これを見て、SLの車内でフルート演奏した事を思い出しました。次回は12月発行予定です。それにしても、3ヶ月はアツという間ですね。毎回ネタを探すのが大変ですが、第3号も益々パワーUPした物になればいいなと思います。（丸山編集員）

地域・社会に貢献できる会社をめざして  
**株式会社 桑原測量社**

本社所在地

〒943-0873 新潟県上越市大字西田中62番地14

電話：025-525-9100

FAX：025-525-0840

URL: <http://www.kuwa-soku.co.jp/>

発行：株式会社 桑原測量社 広報室

編集委員：宮下・高沢・齊木・山崎・渡邊・丸山